

コンバージド・データセンター技術動向

従来型基盤

ハードウェアベース、
サイロ化され静的、
複雑な管理、
非効率、
あらゆるワークロードや
アプリケーション向け

コンバージド インフラストラクチャー

ハードウェアベース、
事前設定および
事前認証済み、
中央一元管理、
効率性増大、
特定ワークロードや
アプリケーション向けに最適化

ハイパーコンバージド インフラストラクチャー

ソフトウェアベース、
統合化および仮想化、
簡素化された管理、
効率性増大、
特定ワークロードや
アプリケーション向けに最適化

コンポーザブル ディスクアグリゲートド インフラストラクチャー

全てがソフトウェア定義、
柔軟且つ動的、
自動化とオーケストレーション、
非常に高い効率性、
あらゆるワークロードや
アプリケーション向け

コンポーザブル化に向かう動き